

2024年10月、全国巡回を経てついに東京にやってくる！

さくらももこ展

六本木ヒルズ・森アートセンターギャラリーで開催決定

会期：2024年10月5日（土）～2025年1月5日（日）

会場：森アートセンターギャラリー（六本木ヒルズ森タワー52階）

森アートセンターギャラリー（六本木ヒルズ森タワー52階）では2024年10月5日（土）～2025年1月5日（日）まで、「さくらももこ展」を開催いたします。2022年11月より高松市美術館から始まり、全国巡回をしている本展が、ついに東京にやってきます。

本展は、**まんが家、エッセイスト、作詞家、脚本家といくつもの顔を持ち、新しいキャラクターやエッセイを次々と生み出し続けた稀代のアーティスト・さくらももこの今もなお輝き続けるその全魅力に迫る展覧会**です。

まんが家として、1984年『教えてやるんだありがたく思え！』でデビュー以降、『ちびまる子ちゃん』、『COJI-COJI』といった人気作品を続々と発表。こどもから大人まで愛される作品に加え、ブラック、かつカオスなユーモアセンスが存分に発揮された『神のちから』、『永沢君』、『ちびしかくちゃん』など、多岐にわたる作品を生み出しました。特に、1986年に少女まんが雑誌「りぼん」（集英社）にて連載開始となった『ちびまる子ちゃん』は、1990年のアニメ化以来、大人から子供まで誰からも愛される国民的まんがとなっています。

さらに、1991年に刊行したデビューエッセイ『ものかんづめ』は累計発行部数290万部（※2024年1月時点）を超える大ベストセラーになりました。エッセイスト・さくらももことして、その後も『さるのこしかけ』、『たいのおかしら』といった作品を発表し、さくらももこエッセイ三部作として人気を集めました。以降も自身の幼少期や思春期がテーマの『ひとりずもう』や『おんぶにだっこ』、妊娠・出産エピソードを盛り込んだ『そういうふうでできている』など、様々なライフステージ上でもエッセイストとしての腕をいかに発揮し、その確固たる地位を確立しました。

また、まんが、エッセイだけに留まらず、ちびまる子ちゃんとゴジゴジが夢の共演を果たした『絵本まるゴジ』など、まんがを読むより前のちいさなこどもたちに向けた絵物語も数多く発表しました。

本展覧会では、代表作を含む約300点のカラー原画や直筆原稿をこれまでにないボリュームで一室に展示します。さらに、東京会場ならではの展示や企画も予定しています。

「描く」ことと「書く」ことを楽しみつくし多忙を極める一方、季節のうつろいや小さな日常をこよなく愛したさくらももこの世界をぜひお楽しみください。



©さくらももこ ©さくらももこプロダクション

● さくらももこ プロフィール

1965年5月8日静岡県生まれ。1984年『教えてやるんだありがたく思え!』でデビュー。1986年「りぼん」で『ちびまる子ちゃん』連載開始。1989年同作品で第13回講談社漫画賞受賞。1990年作詞をした「おどるポンポコリン」が日本レコード大賞ポップス・ロック部門受賞。1991年初エッセイ『もものかんづめ』がベストセラーに。『さるのこしかけ』（92年）で第27回新風賞受賞。『スヌーピー・ブックス』シリーズでは翻訳を手がけるなど幅広く活躍した。2018年8月永眠。

● 開催概要

- ◆ 展覧会名： さくらももこ展
（英語表記） Momoko Sakura Exhibition
- ◆ 会 期： 2024年10月5日（土）～2025年1月5日（日）
- ◆ 開館時間： 未定
- ◆ 入 館 料： 未定
- ◆ 会 場： 森アーツセンターギャラリー（東京都港区六本木 6-10-1 六本木ヒルズ森タワー52階）
- ◆ 主 催： 森アーツセンターギャラリー
- ◆ 企 画： 集英社、朝日新聞
- ◆ 協 賛： 図書印刷
- ◆ 協 力： 三菱ケミカルグループ
- ◆ 公式サイト：【展覧会公式サイト】 <https://sakuramomoko-ten.com/>
- ◆ 公式 SNS：【展覧会公式 SNS】 [@sakuramomokoten](https://twitter.com/sakuramomokoten)

※その他の巡回先など最新情報は決まり次第公式サイト等でお知らせします。

※その他の詳細情報は、森アーツセンターギャラリー公式サイト

（<https://macg.roppongihills.com/jp/>）で順次公開予定です。

※本展覧会に関する情報は予告なく変更になる場合があります。

最新情報は森アーツセンターギャラリー公式サイトにて必ずご確認ください。

【本展に関する記事・報道のお問い合わせ】

「さくらももこ展東京会場」広報事務局（共同ビル内）

担当：庄司、安田、伊原

TEL：03-6264-2059（広報事務局代表）、

070-4303-7402（庄司）、090-7909-5164（安田）

Email：sakuramomokoten-tokyo-pr@kyodo-pr.co.jp